

◆◆第81回定期全国大会決定事項に基づく申し入れ

【全国発信記事】大阪支部 滋賀県・大阪府・大阪市に申し入れ

船員政策諸課題の申し入れ

滋賀県は県内の小学5年生を対象に学習船「うみのこ」で船上体験学習を実施

滋賀県への申し入れ

大阪支部は滋賀県と大阪府、大阪市それぞれの自治体に第81回定期全国大会決定事項に基づく申し入れを行い、活動方針を具現化すべく、船員政策諸課題に関する項目について強く要請した。

滋賀県への申し入れは2月8日に行い、三日月大造滋賀県知事にご対応いただいた。

三日月知事からは「わが国にとって船舶は交通、生活物資輸送に重要な手段であると認識している。滋賀県に海はないが、琵琶湖という日本一大きな湖と湖上を利用しての交通網と旅客船は重要であるという認識のもと、毎年、県内の小学5年生を対象に、学習船『うみのこ』を利用した船上体験学習を行っており、乗船経験を通じて海に親しむ活動につながっている。また、船員税制については、各市町村の対応にもよるが、海員組合の活動は十分に理解している」との考え方が示された。

その後、意見交換を行い、増田純琵琶湖汽船職場委員から「琵琶湖はプレジャーボートなどのレジャーが盛んで、ルールを設けているが、危険な場面が目立つため注意喚起を願いたい」との意見を述べ、三日月知事からは「危険を是正するためにも琵琶湖に関するルールの啓発活動をしっかり指導していきたい」との考え方が示された。

大阪府・大阪市への申し入れ

大阪府と大阪市への申し入れは1月12日に行い、丸山順也計画整備部長（大阪市）と田川慎一泉州港湾・海岸部長（大阪府）にご対応いただき、申し入れに対し「海に親しむ活動については、運輸局主催のサンタマリアを利用した体験乗船にも港湾局として協力している。これらの取り組みはとても好評なので、今後も継続していきたい。船員税制については毎年申し入れを受けており、要望は理解できるが、公平性と担税力の観点から、ハードルが高く減免は難しい」との考え方が示された。

「海員だより」